

阿蘇は箱舟プロジェクト 最終報告会

東海大学
農学部 応用植物科学科
0CNV2137 米倉咲良



阿蘇は箱舟プロジェクトとは？

「阿蘇地域の希少な動植物を後代へと残したい」

という学生たちの思いから発足された学生によるボランティア活動です。

- 発足

2012年、今年で12年目

- 目標

希少動植物の保護と生息環境の保全
阿蘇の自然に関する広報活動

- メンバー人数

92名(2023年6月時点)



オオルリシジミ

Shijimiaeoides divinus asonis

環境省 絶滅危惧IB類(EN)

これまでの成果

➤ 環境大臣賞 とは？

環境省が、環境保全、地域環境保全及び地域環境美化に関して、顕著な功績があった者または団体に対し、その功績をたたえるため、環境大臣による表彰が行われている。



2020年度 受賞

今年度の成果

東海大学

在学生・保護者向けポータル (TIPS) | 本学教職員向け情報 | ENGLISH | Google 検索

大学の概要 教育・研究 受験・入学案内 学生生活 グローバルネットワーク 学外連携 学園ネットワーク 各種情報・お問い合わせ

TOP > チャレンジセンターニュース > 阿蘇は箱舟プロジェクトがオオルリシジミや希少な草原の植物の生息環境を守るための除草活動をしました

阿蘇は箱舟プロジェクトがオオルリシジミや希少な草原の植物の生息環境を守るための除草活動をしました

2024.01.18

熊本キャンパスと阿蘇くまもと臨空キャンパスで活動するチャレンジプロジェクト「阿蘇は箱舟プロジェクト」が、12月14日に阿蘇地域で除草活動をしました。本プロジェクトは、絶滅危惧種のチョウであるオオルリシジミの生息環境や希少な植物を守ることを目的に活動をしています。年に複数回行っている除草活動のほか、専門家と協力してオオルリシジミの個体数調査や不法捕獲を防ぐパトロールにも取り組んでいます。

当日は、プロジェクトメンバーや地域住民ら約20名が参加。オオルリシジミの食草「クララ」の育成を目指して、イネ科の雑草やセイタカアワダチソウをはじめとした外来種雑草を刈りました。メンバーの渡谷光さん（大学院農学研究科2年次生）は、「私は学部2年次生のころからこの活動に参加していますが、阿蘇地域でオオルリシジミやダイコクコガネといった昆虫、タマボウキやアソノコギリソウなどの植物をはじめ、希少な種に出会えてとても感動しました。阿蘇の環境保全に携われたことは誇りです」と振り返り、後輩たちに向けて「これからも希少種保護に向けた多彩な取り組みを続けてほしい」とメッセージを送っています。



熊本日日新聞 令和5年(2023年)8月2日 水曜日 県内版 12

標本作って「昆虫博士」！

嘉島町 小学生が挑戦

昆虫について学び、標本作るイベントが7月29日、嘉島町上島の東海大松前重義記念館であり、小学生の「昆虫博士」たちがオリスシナルの標本作りに挑戦。親子連れ約100人が参加し、東海大農学部村田浩平教授(56)が指導した。村田教授が「方角が分かり、海を渡るチョウがいる」「セミを捕るときは深い網を使

うなど、昆虫の生態や採集方法を伝えると、子どもたちは目を輝かせて聞いた。子どもたちは、村田教授や学生の手ほどきで標本作りに挑戦。針と段ボールを使い、真剣な表情で昆虫の羽や足を固定した。益城町広安小3年の高嶋恭土君は「大好きなカブトムシを上手に標本にできてうれしかった」と笑顔だった。(枝村美咲)



真剣な表情で標本作りに挑戦する子どもたち＝嘉島町

▲ **昆虫教室**
熊本日日新聞(8月2日)に掲載！

◀ **除草活動**
東海大学HP(1月18日)に掲載！

阿蘇地域の現状について

生物多様性に富む阿蘇の草原



放牧



除草



野焼き

放牧と密接な関係にある
希少生物



オオルリシジミとクララ



ダイコクコガネ

阿蘇地域での問題と私たちの活動

問題

影響

熊本地震
農家の高齢化
異常気象



希少野生動植物
生息地の減少



利用する道路の寸断



不法採集



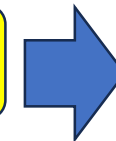
希少野生動植物の減少



「自然離れ」



自然への関心の低下



阿蘇地域での問題と私たちの活動

問題

熊本地震
農家の高齢化
異常気象

不法採集

「自然離れ」

影響

希少野生動植物
生息地の減少

利用する道路の寸断

希少野生動植物の減少

自然への関心の低下

私たちの活動

放牧支援活動

除草活動

道路整備

啓発活動

パトロール活動

各種イベント

データベース作成

阿蘇地域での問題と私たちの活動

問題

影響

私たちの活動

熊本地震
農家の高齢化
異常気象

希少野生動植物
生息地の減少

放牧支援活動

除草活動

利用する道路の寸断

道路整備

不法採集

希少野生動植物の減少

啓発活動
パトロール活動

「自然離れ」

自然への関心の低下

各種イベント
データベース作成

放牧支援活動

牧柵修理：3kmに及ぶの牧柵の張り直し作業



牧柵修理と肥料まきを支援
今年度は**4月に2回** 実施



肥料まき：4トン（100袋分）の肥料まき



◎放牧について学ぶ
機会

阿蘇地域に対する貢献
・農業支援

阿蘇地域での問題と私たちの活動

問題

影響

私たちの活動

熊本地震
農家の高齢化
異常気象

希少野生動植物
生息地の減少

放牧支援活動

除草活動

利用する道路の寸断

道路整備

不法採集

希少野生動植物の減少

啓発活動
パトロール活動

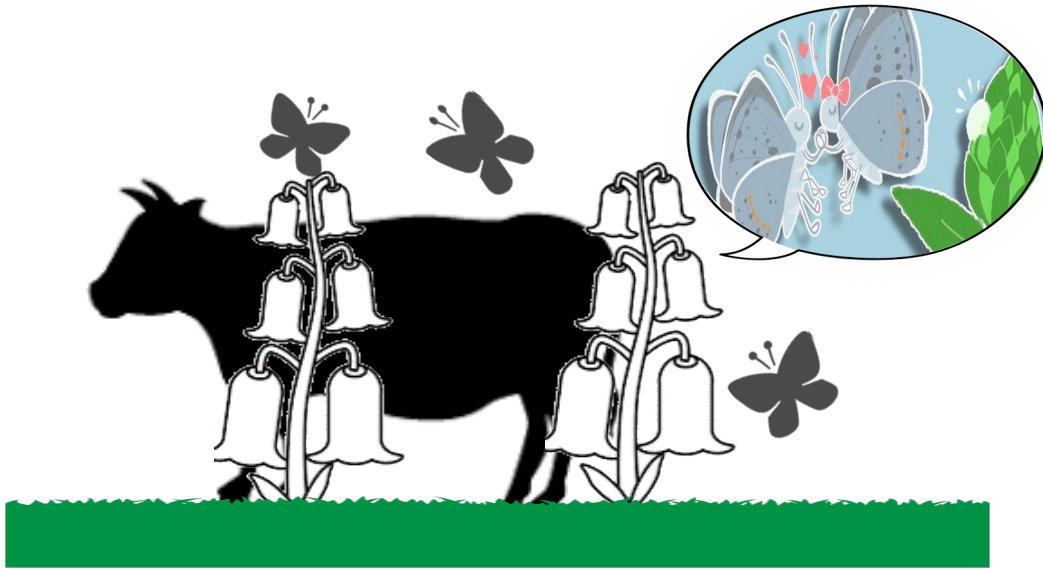
「自然離れ」

自然への関心の低下

各種イベント
データベース作成

除草活動の意義：放牧による恩恵

放牧がなされた草原



ク拉拉を見つけやすい

放牧がされていない草原（放棄地など）

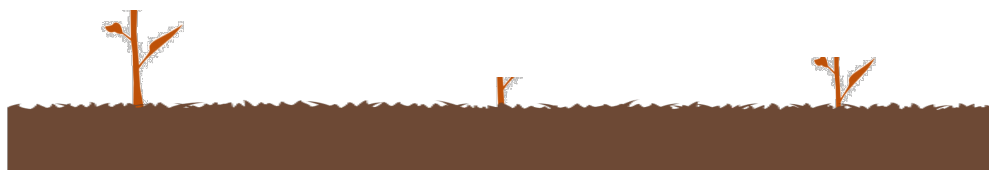


ク拉拉を見つけにくい

ク拉拉はオオルリシジミの食草
ク拉拉のために人の手による除草が必要

除草活動の意義：野焼きによる恩恵

野焼き実施



草原が維持

クララの生育に適切な環境

未野焼き



草原から森林に遷移

クララが生育しにくい

クララの生育には草原が適切

草原の維持が重要

除草活動

放牧、野焼きが実施されていない草原の除草活動

今年度は6月に2回、10月に1回 計3回実施



除草前



除草後

オオルリシジミの食草であるクララ以外を除草

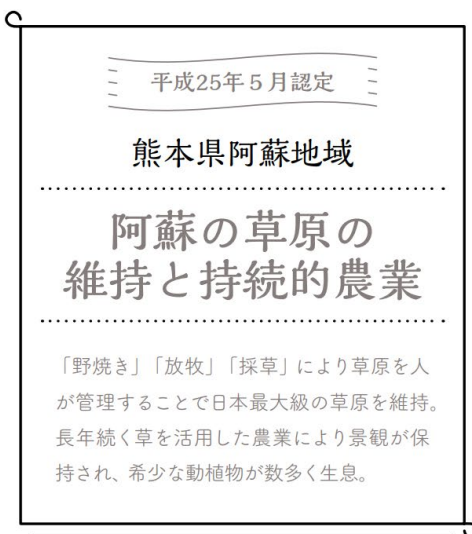
除草活動：他団体との協力

6月の除草で**水源の森林ボランティアネットワーク**さんと協力して活動！



除草活動を通じて学んだこと

◎除草活動が希少野生動植物の保護・阿蘇地域特有の景観の保全に繋がる！



あか牛の放牧



草原の維持に必要な野焼き

草原は自然のままでは時間とともに森林へ移り変わりますが、阿蘇地域では草原を人が管理し続けることで日本最大級の草原を維持しています。人々は四季を通じて、草を焼く「野焼き」、牛や馬を放つ「放牧」、草を刈る「採草」を中心に草原の管理を行います。阿蘇の野焼きは表面だけを焼くため、土中の植物の種や昆虫に影響がなく、希少な動植物が数多く残っています。

また、元来農業には不向きである酸性で養分の乏しい火山性土壌の土地を長年かけて改良し、涼しい気候風土を活かした米や多様な野菜の生産が行われています。

▲引用資料：農林水産省

阿蘇地域での問題と私たちの活動

問題

熊本地震
農家の高齢化
異常気象

不法採集

「自然離れ」

影響

希少野生動植物
生息地の減少

利用する道路の寸断

希少野生動植物の減少

自然への関心の低下

私たちの活動

放牧支援活動

除草活動

道路整備

啓発活動

パトロール活動

各種イベント

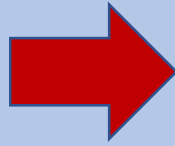
データベース作成

道路整備

泥かき：2kmにわたって泥を除去！



活動前



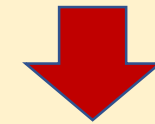
活動後

倒木：地元の方と協力し除去



保全地帯へ行く道
農作業で通行・
観光名所につながる道
+

車両の複数乗り入れが困難
整備する方々の高齢化
異常気象での道路寸断増加



◎災害復旧の難しさ
地元の方々と協力する大切さ

阿蘇地域での問題と私たちの活動

問題

影響

私たちの活動

熊本地震
農家の高齢化
異常気象

希少野生動植物
生息地の減少

放牧支援活動

除草活動

利用する道路の寸断

道路整備

不法採集

希少野生動植物の減少

啓発活動

パトロール活動

「自然離れ」

自然への関心の低下

各種イベント

データベース作成

パトロール活動



◎ただ監視するだけでなく、観光客との交流を通じて種を守ることの重要性を啓発する活動であることの再認識が出来た

◆ 不法採集者への抑止力として、阿蘇地域のパトロールを5月の1か月間、13回実施！

阿蘇地域での問題と私たちの活動

問題

影響

私たちの活動

熊本地震
農家の高齢化
異常気象

希少野生動植物
生息地の減少

放牧支援活動

除草活動

利用する道路の寸断

道路整備

不法採集

希少野生動植物の減少

啓発活動

パトロール活動

「自然離れ」

自然への関心の低下

各種イベント

データベース作成

各種イベント：昆虫教室

昆虫教室



7月29日 開催

松前重義記念館にて, 昆虫教室へ
スタッフとして参加

標本の作製, 標本展示を行いました!

来場者数は約80名におよび大盛況

各種イベント：生き物観察会

生き物観察会

東海大学九州キャンパス
南阿蘇村総合協議会
夏休み企画



8月11, 12日 開催

南阿蘇村のキャンプ場にて、
昆虫観察会を開催

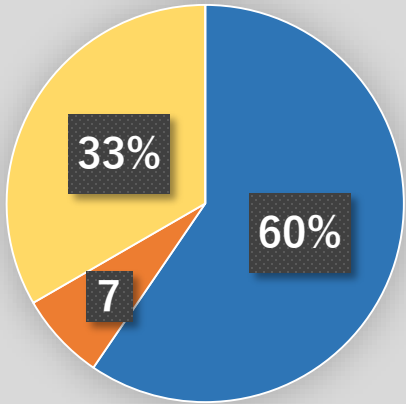
スタッフとして参加

小学生と保護者の方を対象！
昆虫の見つけ方, 捕まえ方を伝授！！

生き物観察会のアンケート

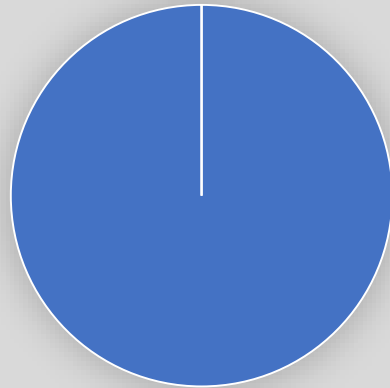
生き物観察会の評価

本企画の評価



- 勉強になった
- 興味湧いた
- いい経験になった
- 難しかった

再開催への要望



- やってほしい **100%**
- どちらでもない
- やってほしくない

42件のアンケート結果
多くの方からご好評!!

本企画へ寄せられた感想 11件

- ・どこを見れば虫が見つかるのかよくわかりました。
とても楽しかったです。また、来年、楽しみにしています。(保護者)
- ・とても楽しかったです。ありがとうございました。(保護者)
- ・楽しかった。ヒグラシがうれしかった。(小学2年)
- ・身近な場所にも虫などはいらんだなと思った。(保護者)
- etc...

- ・ 本企画の評価 **極めて良好**
- ・ 再開催への要望 **100%**
- ・ ご感想, ご声援 **11件**

各種イベント：ブース展示

鉄砲小路ふるさとふれあい祭り

11月23日 開催



鉄砲小路ふるさとふれあい祭りにて、東海大学のブースで参加活動を紹介するパネル展示を行いました！

データベース作成



メンバーで昆虫標本を作成

標本は昆虫教室などで使用したほか、オープンキャンパスでも展示

◎阿蘇地域と生物について情報を発信すること
資料を後代に残すことの重要性

まとめ①

問題

熊本地震
農家の高齢化
異常気象

不法採集

「自然離れ」

影響

希少野生動植物
生息地の減少

利用する道路の寸断

希少野生動植物の減少

自然への関心の低下

私たちの活動

放牧支援活動

除草活動

道路整備

啓発活動

パトロール活動

各種イベント

データベース作成

まとめ②

私たちの活動

放牧支援活動

除草活動

道路整備

啓発活動

パトロール活動

各種イベント

データベース作成

活動から得た学び

放牧の仕事、景観維持につながること

動植物保護、景観維持につながること

学生ボランティアとして活動する意義

保護の重要性を啓発する大切さ

情報発信・
資料を後代に残すことの重要性

今後の展望

今年度

放牧支援活動

除草活動

道路整備

啓発活動

パトロール活動

各種イベント

データベース作成



次年度

今までの活動の継続
＋

SNSなどでの活動の情報発信
さらに多くのメンバーに参加してもらう



ご清聴ありがとうございました

